

「第九ひろしま」合唱方針

(1)第九ひろしま公式楽譜

出版社ハンナの『ショパン 発音・語訳付 ベートーヴェン交響曲 第九番 歓喜の歌 合唱終曲（ドイツ語版）』を使用しています。
(RCC Web Shop で販売。税込 800 円+送料)

(2)「-er」の発音について、「-er」の発音について

基本的には「現代ドイツ語」風に「流す」。

例) **Zauber** 例年「ツァウベル」、今年「ツァウバー」
ただし「…バー」は「開けすぎない」弱拍なので弱く。

Wieder 例年「ヴィーデル」、今年「ヴィーダー」
「…ダー」は「開けすぎない」弱拍なので弱く。

Brüder 例年「ブリューデル」、今年「ブリューダー」
「…ダー」は「開けすぎない」弱拍なので弱く。

※その他の「-er」や「-r」の発音は、合唱指導の先生の指導に従ってください。

(3)238 小節～（公式楽譜 P9）

合唱歌い始めはバスパートのみ（ベートーヴェンの原譜通り）

(4)257 小節～（公式楽譜 P10）

練習番号 D/ソプラノパートは休み（ベートーヴェンの原譜通り）

(5)758 小節（公式楽譜 P43）

アルトパートの「ド」はシャープをつける（ベートーヴェンの原譜通り）

その他、ご不明な点は、第九ひろしま事務局にご質問ください。
RCC 事業部第九ひろしま事務局 TEL 082-222-1133